



入間野 愛

狭山市立入間野中学校便り
令和4年度卒業特集号
発行者 和田雅士

167名の3年生、旅立ちの日に... 卒業おめでとうございます。

令和4年度卒業生の皆さん、ご卒業、おめでとうございます。今日の晴れ舞台、とてもりしい姿でした。本日まで、3年生はみんな、エネルギーに中学校生活を送ってきました。今年の3年生は集団としては動と静で言えば、動のイメージでしたが、一人ひとりに目をやると、静の生徒もいました。中学校3年間でそれぞれの個性と強みを見出すことはできましたか。これから、その強みにさらに磨きをかけてそれぞれの場で活躍することを願っています。

人生、一筋縄ではいかないことの方が多いです。だから人生は面白いのかもしれませんが、うまくいくこともあれば、途中でめげてしまうこともあるかもしれませんが、「後ろを振り向くな、後ろには夢はない！」の気持ちで前に進んでください。前へ、前へ、入間野中、令和4年度卒業生！！

保護者の皆さま、お子さまのご卒業、誠におめでとうございます。ここまでの子育ての労苦に敬意を払うとともに、お子さまの今後のさらなる成長と飛躍を、本校職員一同お祈り申し上げます。

卒業生にかかる表彰

令和4年度卒業生の3年間の学業、善行、スポーツの業績をたたえて、埼玉県教育委員会、産業教育振興会、スポーツ協会から表彰された卒業生を紹介します。

令和4年度児童生徒表彰（埼玉県教育委員会）

令和4年度埼玉県産業教育振興会小中学校優良卒業生

埼玉県スポーツ協会令和4年度体育優良児童生徒

埼玉県スポーツ協会令和4年度体育優良児童生徒

おめでとうございます。

卒業生別れの言葉

冬の寒さも和らぎ、あちらこちらで春の訪れを感じられる季節となりました。

本日、私達三年生 167 名は、入間野中学校を卒業します。

思い返せば、三年前、新しく少し大きな制服を身にまとい、期待と不安を胸に中学校の門をくぐったあの日から、私達の中学校生活は始まりました。その日々は決して平坦なものではありませんでした。入学してからすぐに学校は休校となり、友達とも、先生方とも会えない日々が続きました。休校が明けてからも、感染防止のため、様々な制限が課された日々。実施できなかった行事や、実施はできたものの完全な形ではない行事もありました。しかし、私達は学校生活を楽しむことができなかつた訳ではありません。むしろ様々な制限がある中だからこそ、「友達や先生と教室で授業を受けられること」、「一つの行事に向かい、皆で協力して取り組めること」の喜びとあたりまえへの感謝の気持ちを強く感じる事ができたと思います。

私は、この学年には、どんなに辛い状況の中でも、皆で協力して盛り上げ、その時ならではの楽しさを見出す力があると思います。もちろん良い事ばかりではなく、時には盛り上がりすぎて叱られることもありました。しかし、それさえも乗り越えて成長した私達は、本日、それぞれの未来を目指し、沢山の希望と誇りを胸に、入間野中学校を巣立ちます。私達が進む道の先には、きっと、様々な喜びや楽しみはもちろん、多くの苦難や試練も待ち構えていることでしょう。それでも、中学校で過ごした日々を、皆で喜び分かち合い、苦しみを乗り越えた三年間の思い出を支えとして、これから出会う新たな仲間と共に、未来を切り開いて行くことができると私は信じています。

一、二年生の皆さん、部活動や委員会などの場では、私達についてきてくれてありがとうございました。先日の三送会では心のこもったメッセージを受けとり、とても嬉しく思いました。これからは皆さんが入間野中を支え、新入生を迎えてほしいと思います。

そして、保護者の皆様、私達は本日、義務教育を修了し、各々の進路へと進みます。毎日、私達を支えてくれてありがとう。身体も心も成長し、その中で反発をしてしまうこともありました。それでも毎日、頑張ることができたのは家族の支えがあったからです。これからも私達を温かく見守り、私達が親孝行できる時まで、そばで支えて頂ければ幸いです。

校長先生をはじめとする先生方、本日は私達のために、このように盛大な場を準備して頂き、誠にありがとうございます。先生方は私達に多くのことを熱く、丁寧に教えて下さりました。先生方に教えていただいたことを決して忘れず、これからも日々精進してまいります。三年間、本当にお世話になりました。

最後になりましたが、ご多用の中、ご出席いただきましたご来賓の皆様へ、心よりお礼を申し上げ、卒業生別れの言葉とさせていただきます。

令和五年三月十五日

卒業生代表

